



1階のダイニング「koe lobby」大階段の下にホテルのロビーカウンターがある

hotel koe tokyo

「素」の素材で作られた 「モノゴト」によって変化する空間

渋谷PARCO2跡地に建てられたビルの1~3階がブランド「koe」のグローバル旗艦店。1階が飲食とイベントスペース、2階がショップ、3階がホテルで構成されている。「オンラインでもモノが買える時代にどのような体験が求められるかを追求。衣食住を全て満たす空間をホテルと見立てれば、ブランドの思想に24時間通して触れられると考え、ホテル併設型のアパレル店を提案した」とサボーズデザインオフィスの吉田 愛氏。ホテルはファッションやカルチャーに興味がある宿泊層をターゲットとして空間を構成。1階の

ショップやレストランで多様な客層が交じり合い、コミュニケーションを深めることが計画された。「スクランブル交差点から続く動線にある1階はレストランであり、週末には音楽イベントも行われる。「モノゴト」によって変化する空間にしたかった。今はハイブランドとストリートがコラボするように、ラグジュアリーも変化している。今までとは違う空気感を出したかったので、装飾を省いた“素の素材”だけで空間を計画した。今回、内装にケイミュー株式会社の「SOLIDO」を用いたのもその一環。質感があり、光が当たると一枚ごとに表情も異なって見える。下地材でありながら仕上げ材でもあることにもメリットを感じている」と語る。



hotel koe tokyo

所在地 / 東京都渋谷区宇田川町
 事業主 / 株式会社ストライプインターナショナル
 設計 / サボーズデザインオフィス
 施工 / 株式会社乃村工務社
 竣工 / 2017年12月



1階のイベントスペース。正面奥の内装材が「SOLIDO」



アパレルと雑貨を販売する2階のショップ



セルフ&キャッシュレスで夜間ショッピングにも対応



SOLIDO typeF coffee リサイクル内装ボード

セメント素材独自の白華(エフロレッセンス)と使用済みコーヒー豆などにより作り上げた、1枚1枚異なる温かみを感じる素材。

詳細はウェブサイトでご覧いただけます
 ケイミュー株式会社



採用建材

● SOLIDO typeF coffee リサイクル内装ボード

* 画像提供: 株式会社OFF 長谷川健太氏